

学部等連係課程制度による

社会システム経営学環の設置申請について

(※内容は予定であり、変更する場合があります。)

本学では、令和3年度から社会システム経営学環を設置する予定です。

令和元年8月に改正された大学設置基準により新たに設けられた学部等連係課程制度に基づき、4月28日(火)に文部科学省へ申請書類を提出しました。

本学環は、既存の複数の学部との緊密な連携・協力により、学部の枠を超えた横断的な学位プログラムを実施する、学部に準じた教育研究上の基本組織です。

本学環は、経営を中核としたビジネス・まちづくり・観光に関わる講義と、企業、自治体、各種団体をフィールドとする実習を組み入れたカリキュラムを特色としています。

経営学的視点により、豊かな社会の創造、活力ある社会システムの実現に貢献できる、実践的な能力を修得した人材を養成します。

学部等連係課程制度に基づく学部レベルでの教育課程の設置申請は、全国で岐阜大学が初めてとなります。

【基本概要】

組織名称：社会システム経営学環

設置形態：学部等連係課程

入学定員：30名

学位：学士(経営学)

教員組織：専任教員14名

連係協力学部：地域科学部、工学部、応用生物科学部

設置時期：令和3年4月1日

【社会システム経営学環の特色】

別添資料をご参照ください。

【ホームページによる情報提供】

岐阜大学公式HP＞学部・大学院

＞社会システム経営学環【令和3年4月設置構想中】

URL: <https://www.gifu-u.ac.jp/academics/faculty/keiei.html>

【本件に関する問い合わせ】

岐阜大学新学部設置準備室

事務主幹 石際 淳（いしぎわ あつし）

TEL：058-293-3440（直通）

E-mail：gjng00002@jim.gifu-u.ac.jp

設置の背景と必要性

国立大学への社会からの期待

- ✓ 活力ある地方創生への貢献

✓ 産業競争力の強化への貢献

✓ イノベーションの創出

岐阜県の課題

- ✓ 人口減少・少子高齢化

✓ 若者の地元定着

✓ 産業&地域競争力の強化

✓ 安全・安心な地域社会

✓ 他分野にまたがる地域課題を解決できる地域産業人材の育成

岐阜大学の特徴・実績

- ✓ ワンキャンパスに全学部等が集結した総合大学

✓ 多様な専門分野の教員を教育研究院で一元管理

✓ COC+事業※等による地域連携・課題解決実践

※「次世代地域リーダーの育成」(教育)・「地域志向学の推進」(研究)・「多様な人びとが集い議論する『場』(ぎふフューチャーセンター)の形成」(社会貢献)の3つを柱とした取り組みを行うことで、地元定着を推進し、地方構想性に貢献する事業。

岐阜大学のAnswer

- ✓「ビジネス・まちづくり・観光」の3視点から経営学を学び、課題解決に主眼を置いた教育を実施

✓地方創生への更なる貢献に向け、既存学部等に経営学的視点を付加

強化される岐阜大学の機能

- ①経営／マネジメント教育を基盤とした活力ある社会を実現する教育研究機能

②地域における人材の定着を促進する人材確保・供給に関わる教育機能

③経営分野における地域と大学及び学部間を繋ぐハブ機能

社会システム経営学環の概要と特色ある教育

基本概要

設置形態：学部等連係課程 (連係協力学部と連携して編成する教育課程)

入学定員：30名 学位：学士(経営学)

教員：専任教員14名(連係協力学部の専任教員を兼ねる教員(内訳:地域科学部5名、工学部5名、応用生物科学部3名))

養成する人材像

多面的思考、マネジメント思考を身につけて、企業、自治体、各種団体などを対象に的確な経営判断ができ、経営にイノベーションをもたらし、豊かな社会の創造、活力ある社会システムの実現に貢献できる、実践的な能力を修得した人材

カリキュラム

企業や実社会の課題を教材とした独自の実践的なカリキュラムを以下の6つの特色ある教育手法等を取り入れることで、課題解決を図る総合的経営／マネジメント能力を修得します。

①学部横断的教育

連係協力学部で開講される科目の一部を本教育課程として位置付ける等、学部横断的なカリキュラムとすることで、関連分野や学際分野などを幅広く学修した学生を育成。

②アクティブ・ラーニング

受動的な学びではなく能動的に学修に参加する学修方法を授業に取り入れることで、社会でも学び続ける自律的・主体的な学生を育成。

③課題解決型（PBL型）実習による実践的な学修

企業・自治体等が抱える課題に対し、解決策を提案する課題解決型実習とすることで、真に地域課題を解決できる学生を育成。

④往還型教育

大学での講義と現場での実習等を繰り返すことで、効率的に理論と実践の定着を図り課題解決能力を身に着ける。

⑤混在型教育

異学年あるいは異分野の学生や社会人と共に学ぶ機会を通じ、多様な考え方や価値観に触れることで学びの幅を広げ、かつ深化する。

⑥COC+事業

「次世代地域リーダー育成プログラム」の履修を積極的に促すことで、地域リテラシーを備え、地域で実践的に活躍し、地域の中でリーダーシップを発揮できる学生を育成。

○教養教育科目（28単位）

多様な知識を身につけ、豊かな人間性を養うこと及び、広い視野を持って自主的・総合的な判断能力を育成する

○専門基礎科目（30単位）

基本的マネジメント能力としてデータ分析に必要な基礎学力や論理的思考力及び、実践的な課題解決のための方法論を修得する

○専門科目（64単位）

地域課題解決力を実践的に修得するために必要な専門知識とマネジメント力、企業力と地方創生・地域貢献力を高める

以下の3つのプログラムのうち1つを選択。

・ビジネスデザインプログラム

企業の経営目標のために資源を効率的に活用して成果を得る方法論を修得する。

・まちづくりデザインプログラム

地方と都市の成り立ちや環境に関する専門性を深め、協働体制による持続可能な地域経営を構築する能力を修得する。

・観光デザインプログラム

観光事業と観光が生み出す価値、地域ブランドの構築手法を学び、企画立案を行い、地域資源の活用方法を創出する能力を修得する。

○自由選択科目（6単位）

幅広く履修することで多面的思考力を高め、専門知識を深めること

学部横断的教育（例）			
連係協力学部			名古屋大学
地域科学部	工学部	応用生物科学部	
現代経済学	技術表現法		
行政法			
会計学			
マーケティング			
計量経済学	技術経営概論	食品工学	経営労務
金融論	機械工学概論	食品安全性学	アセット・マネジメント概論
	電気電子工学概論	食品関連法規	
	化学・生命工学概論		
環境経済学	社会基礎工学概論	農業環境修習学	
		農業生態学	
環境保全論Ⅰ		生物環境科学概論	
		動物生産管理学	
		生産環境関連法規	
		動物園芸学	
		動物園動物管理学	

卒業後の進路

一般企業・官公庁・NPO法人・起業家・ファミリービジネスの後継者・日本版DMO